

<斑点米規格に関する生産者アンケート ご協力のお願ひ>

最近ミツバチの大量死や赤とんぼの減少が問題になっています。ミツバチの大量死の理由はまだわかっていませんが、原因として疑われているのが水稲のカメムシ防除のために散布されているネオニコチノイド系農薬（殺虫剤クロチアニジン 製品名：ダントツ）などがあります。

カメムシ防除の殺虫剤はカメムシ発生面積のおよそ 3 倍の量が散布されていますが、このように大量に散布されるのは、農家が出荷するとき受ける米の検査で、カメムシによる斑点米などの着色粒が 1000 粒に 1 粒ならば一等米、2~3 粒混じれば二等米に等級が下げられてしまうからです(一等米と二等米では 60kg あたり約 1000 円の価格差)。カメムシに汁液を吸われた米粒には黒い斑点が残ります。食べても安全性にはまったく問題はありません。みかけの問題でしかない斑点米ですが、精米するとき色彩選別機で除くことができます。消費者が購入する段階では斑点米の等級の違いは意味がなくなっています。しかも、二等米では農家の手取りが低くなるのに、斑点米を取り除いて消費者に売られる「もと二等米」の価格は、一等米と変わりません。

私たちは農家に農薬散布を強いて環境汚染を招いている斑点米規格を米の検査から削除するよう求めているところです。

そこで米生産農家のみなさまのご意見を知りたく、アンケートを実施することにしました。ご協力のほど、お願い申し上げます。また、賛同団体も募集中です。

アンケート集約は6月末日です。集約団体宛にお送り下さい。

2009年4月20日

「米の検査規格の見直しを求める会」

<賛同団体> 4月20日現在

生き物共生農業を進める会・提携米研究会・日本不耕起栽培普及会・主婦連合会・  
日本消費者連盟・日本有機農業研究会・反農薬東京グループ・食政策センター  
ビジョン21

問合先：「米の検査規格の見直しを求める会」

電話 045-962-4958 (安田) E-mail vision21@ps.catv.ne.jp

<米生産者向け>

米の検査における着色粒（カメムシ斑点米）に関するアンケート

居住： \_\_\_\_\_ 県 米生産面積： \_\_\_\_\_ アール 米作り歴： \_\_\_\_\_ 年目 年齢 代 \_\_\_\_\_

質問（該当するほうに○を付けてください）

1. 検査員による米の検査を受けていますか。

受けている                      受けていない

2. 米の検査において斑点米（カメムシに汁を吸われて黒い点がついた米）が1000粒に2粒になると2等米となって、農協引取り価格が大幅に安くなることを知っていますか

知っている                      知らない

3. カメムシ防除のための農薬散布を行っていますか。

行っている                      行っていない

4. 斑点米は色彩選別機で取り除くことができ、流通業者が精米すると消えてしまうものです。安くされた二等米が一等米に混ぜられ消費者に高く販売されています。

農家として米の検査規格に着色粒（斑点米）という項目は必要と思いますか。

不要                                  必要

5. 米の検査から着色粒の項目が削除された場合、カメムシ防除のための農薬散布は続けますか。

止める                              続ける必要がある

6. ご意見がありましたら、お書きください。

ご協力ありがとうございました。

<アンケート集約先>

名称：

住所：

電話：

集約締め切り：2009年6月末日

（裏面もご覧下さい）